

事務事業評価表

○基礎情報

課名		秘書広報課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	59	市の情報を広く発信し、市長・副市長の執務を円滑にする	寺島 哲	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				2 人	12 人	0 人	0 人	6 人	19.85 人	2,408 時間	16.7 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
ホームページ訪問数(セッション数)	3,086,436回	3,180,000回	3,691,767回	4,889,905回	5,440,322回
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	市長・副市長の執務環境の整備
2	市民との情報共有
3	0
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)														Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円)	R元予算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 (対象) (手段・方法)	どうなったか(生ま れた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止		
1	表彰関係事業	1	0.38	一般	1,447,000	1,842,000	市政の発展や公共の福祉の増進等に貢献した者または団体を広く顕彰し、本人及び市民に活力や希望を感じてもらうことができた。市民栄誉賞及び特別表彰については対象者がおらず実施されなかった。	表彰回数	式典1回、その他5回	式典1回	A	減少					
					860,045	738,471											

2	市制施行70周年記念事業	1	0.00	一般	600,000 389,507	0 0	平成29年10月に市制施行70周年を迎えるにあたり、平成28年10月から平成30年10月までの2か年にわたり、事業を実施した。令和元年度については実施予定、実績ともなし。	式典開催回数	0	0	実績なし	-		
3	ホノルル市・郡との姉妹都市提携交流事業	2	2.05	一般	7,484,000 7,057,922	10,422,000 4,957,278	姉妹都市締結5周年を冠とした様々な事業展開により、市民の国際感覚の醸成に寄与することができた。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、市や民間団体、また青少年による交流事業が中止となった。	青少年国際交流事業における両市参加者の拡大	6人以上	6人(選定したが、直前で延期・中止)	A	変動なし		
4	広報ちがさき等発行事業	2	4.86	一般	47,108,000 46,918,268	49,076,000 49,066,222	広報紙などを活用して市政情報を発信し、市民との状況共有を図ることができた。また、広告事務を展開し、経費負担の軽減を図ることができた。	広報ちがさき発行部数	2,160,000部	2,169,100部	S	変動なし		
5	市ホームページ等管理運営事業	2	1.26	一般	11,470,000 11,460,096	10,868,000 10,478,872	市内外の人に対して、積極的に即時性のある情報発信を行ったことにより、ウェブサイトによる情報取得回数が増加した。	ホームページ訪問数(セッション数)	3149000回	5,440,322回	S	変動なし		
6	ケーブルテレビ放送用市広報番組制作事業	2	0.59	一般	17,377,000 17,363,513	17,485,000 17,465,699	ケーブルテレビやYouTubeの映像を通して地域や市民の活動を伝えることで、市民参加型の番組制作を進めてきた。令和元年度県広報コンクールでは「老舗旅館「茅ヶ崎館」女将森治子さん」が映像部門で最優秀賞に選ばれた。	番組放送回数	52週	52週	S	変動なし		
7	デジタルサイネージ運用事業	2	0.77	一般	1,655,000 1,629,720	1,669,000 1,637,505	神奈中バス、市民待合ロビー、市民ふれあい広場、エレベーターホール、庁舎北東入口のモニターを使い情報発信を行った。	コンテンツの更新回数	135回	292回	S	変動なし		
8	総合案内等広報一般管理業務	2	2.20	一般	14,879,000 13,779,464	14,888,000 13,912,485	来庁者に対して、総合案内や庁内放送により利便性の向上を図ることができた。また、非常勤嘱託職員及び派遣職員の活用により定例的な広報事務を効率的に運営できた。	非常勤嘱託職員等の人数	8人	8人	S	変動なし		
9	外国人への情報提供事業	2	0.25	一般	510,000 510,000	515,000 513,936	市政情報、地域情報を英字新聞を活用することで、外国人に対して積極的かつ効果的に行うことができた。	英字新聞発行回数	4回	4回	S	変動なし		
10	FM放送用市広報番組制作事業	2	0.37	一般	900,000 900,000	909,000 908,334	地元FM局を活用した行政・地域、市民活動情報の発信による市民への積極的な情報提供を図ってきた。新型コロナウイルス感染症のまん延後は、継続的に市政情報を放送してきた。	番組放送回数	52週	52週	S	変動なし		
11	広報板管理事業	2	0.64	一般	1,703,000 1,459,162	1,686,000 1,633,648	広報掲示板の設置場所等の適正化を図りながら、地域の身近な場所に掲示物を掲出し、市民と情報の共有化を図ることができた。	掲示した掲示物の数	200件	302件	S	変動なし		
12	報道機関への情報提供に関する事務	2	0.75	一般	0 0	0 0	報道機関の媒体を活用して、市民に積極的な情報提供を図ってきた。しかし、下半期は新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等が中止になり、情報提供の数が例年より減少した。	年間情報提供件数	310件	206件	A	減少		
13	公共施設等見学会	2	0.00	一般	0 0	0 0	市内の公共施設の見学を通して市政に対する理解を深めていただくこと等を目的として開催してきた。しかし、ここ数年は庁内各課がいずれもマイクロバスを利用した事業が増加し、車両の確保ができず令和元年度は、未実施。	公共施設等見学会の実施回数	10回	0回	Z	-		●
合計					R元予算(円) R元決算(円)	109,360,000 101,312,450								

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
秘書広報課の第4次実施計画の政策的事業の事業数は、13事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、「S」8事業、「A」3事業、「Z」1事業、「実績なし」1事業となっている。また、指標の達成状況についても、8事業において80%以上達成できており、3事業については、指標は達成できなかったものの、成果はあがっており、順調に事業が実施できたと考えている。達成度の結果にかかる分析は次のとおり。	
▼令和元年度のホームページの訪問数は、目標値の315万回に対して172.8%の約544万回であった。前年度と比較しても1.1倍となっていることから、即時性のある行政情報を得るためにホームページを利用することが定着してきていると考えられる。▼平成28年4月から始めた無料スマートフォン向けアプリ「マチイロ」でも「広報ちがさき」を配信している。令和元年度末時点の広報ちがさき登録ユーザー数は3,478件(前年同期比535件増)となっている。平成30年度には市が提供するオープンデータを活用した「マイ広報紙」での配信を実施している。広報ちがさきの電子媒体での発信については、多言語化なども含めて検討する必要があると考える。▼市公式Twitterの令和元年3月時点のフォロワー数は18,852である。SNSの発信では、季節感や臨場感のある写真やイベントの記事などで、「いいね」やシェアの数が増加傾向にあることから、今後も茅ヶ崎の「今」を感じさせる魅力ある情報の発信が必要である。また、SNS単体での情報発信のみならず、市ホームページや広報紙、ケーブルテレビ等の既存媒体とのクロスメディア展開を行うことで、より多角的な閲覧層の獲得が必要である。▼公共施設見学会については、移動手段の確保の課題や一定の役割を果たしたため、終了することとした。▼表彰関係事業について、市民栄誉賞及び特別表彰については、対象者がおらず実施されなかったが、10月に実施した茅ヶ崎市表彰において、23人、1団体を表彰することができた。▼姉妹都市交流事業については、締結5周年の節目の年として様々な事業を展開し、市民に姉妹都市ホノルルを身近に感じてもらうことで、市民の国際感覚の醸成に寄与することができた。青少年国際交流事業においては、市内の小学4・5年生6人を選定し、ホノルルへ派遣するための準備を進めていたものの、新型コロナウイルスの影響により直前で中止・延期となった。▼職員の時間外勤務に着目すると、総時間で2,408時間、一人あたりに換算すると月平均16.7時間であった。働き方の見直しや業務の最適化等により、前年度に比べ一人当たり月平均で3.8時間減少した。	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
-	-	-

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
13	公共施設見学会	マイクロバスの予約確保が困難である状況が改善されないことや、市政に理解や認識を深めてもらうことを目的として実施していたが、現地で見学する手法以外で市民自身が情報収集できる状況にあり、当初の目的は一定の役割を果たしたと考えるため、事業を終了した。